

市長就任のごあいさつ

# 2期目の就任にあたって

## 座間新たなステージへ～暮らしを守り、未来をつくる～

このたび、再び、座間市の市政を担わせていただくことになりました。これまで地域の課題は行政のみで解決するのではなく、市民・団体・企業の皆様と共に解決し、地域の価値を高め、共に未来を創り上げていく「共創」のまちづくりを推進してまいりました。多様な手法で多くの市民の皆様に御参画いただきながら「第五次座間市総合計画-ざま未来プラン-」を策定し、これからさらにこの総合計画を力強く推進していくことで「ひと・まちが輝き 未来へつなぐ」まちの姿を実現してまいります。

座間市の公共施設の多くは老朽化が進んでおり、少子高齢化・人口減少が進む中で、良質な施設を次世代に引き継いでいく事が大きな課題となっています。

また、魅力ある学校づくり、コミュニティスクールなどにより、地域の方々が学校に関わり、学校を中心に地域コミュニティの再構築を図っていかねばならないと考えています。それにより、生きがいづくりやシビックプライド・郷土愛の醸成に繋がる人的資源の循環を構築してまいります。

今、環境問題だけに留まらず、暮らし、教育、産業、経済など、全ての分野において持続可能なまちづくりが求められています。誰もが、いつまでも笑顔で過ごせるまちを目指して「SDGs未来都市」に向け市政運営を進めてまいります。

これまで進めてきた大和高座（大和・海老名・座間・綾瀬）や相模原市との広域連携をさらに深化させ、市民の利便性向上と効率的な行政運営に努め、安全・安心で持続可能なまちづくりを進めてまいります。

これからも市民の皆様の幸せや暮らしを守り、笑顔あふれる未来を共に創ってまいります。



担当 秘書広報課 ☎046(252)7544 (FAX)046(255)3550

# 表裏型顔面把手

愛称募集の結果、合計329票（はがき応募62票、市LINE公式アカウントからの応募267票）の応募をいただきました。どの愛称案も表裏型顔面把手への愛が伝わるもので、選出には困難を極めました。最終選考には座間市文化協会代表者と座間市観光協会代表者も愛称選考会として携わり、愛称案を決定しました。

## 愛称が

# ザマロン

## に決定

## しました！

よろしくね

応募者

西 健司さん（栗原中央）

応募愛称名の意味や理由など

座間市ゆかりの出土品のため「ザマ」。そして、ざまりんのきょうだいのような存在として「ザマロン」。



愛称選考会によるコメント

現在の市制にもつながる（旧）座間村（ザマ）と、昔は栗林が相模野台地上に広がっていたという、（旧）栗原村（栗＝マロン）の間に位置する蟹ヶ沢地域（蟹ヶ沢遺跡）で出土したことを示している愛称案だと思います。

また、栗（マロン）は狩猟採取生活には欠かせない食糧の一つと考えられています。偶然ではありますが、形状が焼き栗の様であることから、市民の方にも覚えて欲しい愛称案です。

愛称が採用された方には、表彰式を行い、賞状の授与と、副賞を贈呈しました。

担当 生涯学習課 ☎046(252)8431 (FAX)046(252)4311

